

地域にはばたく市民パワー！

# ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2013 年 1 月号 (第 57 号)

発行責任者 薄井 文子



狭山不動尊初詣風景：加曾利厚雄氏 提供

## 巻頭言

## 新年に思うこと

編集委員 島川 謙二

『袖すり合うも他生の縁』とか申します。茶道でいう『一期一会』は「一生に一度しかない出会いと心得て、精一杯の誠意を尽くしてもてなすこと」を茶席にこめた言葉です。ともに日本人が大切にしてきた細やかな文化を表現しています。

ところざわ倶楽部の二百数十名の会員もまさに『袖すり合う』仲間であります。そして、所沢市民大学で学んだ所沢市民の集まりである「ところざわ倶楽部」は、所沢市民大学の理念の『自主性と生涯学びつづけること』を受け継いでいると考えます。

1961 年 1 月 20 日 J. F ケネディは有名な大統領就任演説で『祖国があなたに何をしてくれるかを問うのではなく、あなたが祖国に何ができるかを問うてほしい』とアメリカ国民に呼びかけました。

この「祖国」を「ところざわ倶楽部」に置き換えてみましょう。会員ひとりひとりが何ができるかを自主的に考え実行し、自分らしさを出すこと。例えば全体の事業活動に積極的に出席したり、サークルの活動に積極的に関わっていくことが呼びかけに応えることといえるでしょう。

私は『広場 54 号』で、アメリカの心理学者 A. H マズローの『欲求 5 段階説』を紹介しました。人間の欲求は食欲、睡眠欲など最も基本的な生理的欲求から安全の欲求、他人と関わり合いたい、集団に帰属したいという所属親和欲求、さらに他人に認められたり尊敬されたいという自我欲求、そして自己実現欲という最高次のものまで 5 段階に分かれるというものです。



みつこ 画

『人間は自分の能力・可能性を最大限に発揮したい、その自己実現のために、たえず成長していきたい生物である』とマズローは主張します。そうした『人間の集まり』が「ところざわ倶楽部」であると思います。原点は『にんげん』です。

第 6 期から三つのサークルが誕生したことは素晴らしいことです。新しく産声をあげたサークルが着実に成長発展して行くことを期待し、できるだけフォロー、支援をしたいと思います。ところざわ倶楽部全体としての雰囲気作り、丁寧な合意形成に理事の一人として努力して行きたいと思います。

## 1月の倶楽部事業

奮ってご参加ください！！

事業部

## 「サークル説明会」及び「新春公開講演会」1月30日開催！

日時：平成25年1月30日（水）  
 場所：中央公民館ホール  
 第1部：サークル説明会（13:30～14:00）  
 受付（13:00～）  
 第2部：新春講演会（14:00～16:00）  
 受付（13:45～14:00）  
 演題：「放射線のなにが問題か」被曝と健康  
 講師：滝谷紘一氏（所沢市山口在住）  
 （元内閣府原子力安全委員会事務局勤務）  
 主催：ところざわ倶楽部  
 協力サークル：「地球環境に学ぶ」

## 第1部：サークル説明会

倶楽部14サークルの活動の説明、市民大学19期修了者が新しく結成した3サークル（懐かしの映画・鑑賞会、歴史をたのしむ野老会、民話の会）の紹介を行います。また、ところざわ倶楽部入会、サークルへの新規加入、新サークルの申し込み受け付けを行います。

## 第2部：新春講演会「放射線のなにが問題か」

2011.3.11 発生した東日本大震災により、大自然災害に加え、福島を中心に大量の放射線物質が大気中に放出され、住民が移住を強いられるなど深刻な事態が重なりました。人体への放射線の影響について多くの人が不安を抱えています。ここで“被曝と健康”に問題を絞り、原子力分野に長く関わってこられた滝谷紘一さんに、専門的知識をもとに分かり易く解説して頂きます。質疑の時間を設けていますので、みんなで「放射線と健康」の問題について考えてみましょう。

## 講演の主な項目

- 放射線について
  - ・種類と単位、内部被曝と外部被曝
  - ・自然界から受ける放射線
- 人体への放射線影響
  - ・被曝線量と放射線障害
  - ・絶対に安全な基準はあるか？
  - ・食品中の放射線物質
  - ・低線量被曝にどう向き合うか？

## 平成24年12月理事会報告

総務部長 森下 尚洋

12月理事会は10日(月)に開催されました。

## 1 薄井会長より第6期総会報告、今期基本方針説明

## 2 総務部事案

- (1) 前回理事会、第6期総会議事録確認
- (2) 会費納入者数報告：12月9日現在159名
- (3) 会員名簿は19期生の加入を待つて簡素化の方向で検討
- (4) 19期生が2サークルを立ち上げる予定  
名簿の作成等、倶楽部との調整を仲山理事に一任
- (5) 「広場」の配布につき、ホームページ掲載の「広場」を閲覧することにより、メール配信の廃止について検討する。

## 3 事業部事案

- (1) 30日のサークル紹介の具体的運営は、事業部で検討
- (2) 19期生に配布する既存サークルの資料は、既存のものを加筆、訂正後、生涯学習推進センターが発送する「学びの記録」に同封してもらう。

- (3) 今年度は理事のサークル訪問を実施する。12月は、「傍聴席」、「所沢の自然と農業」、「葵の会」とし、情報交換を行う。

- (4) 3月実施の講演会「iPS細胞の将来」（仮題）準備中

- (5) 5月実施の文化祭準備中。出演者、展示作品を募集中

- ・土曜日開催、作品展示の実施、位置付けの明確化などの意見あり

- ・所沢の郷土芸能の公演などを含めることも検討

- (6) 講演会とは別に、「古典講座」「農業問題を考える」などシリーズ講座を検討

- (7) 市民大学との連携を密にする具体的な方策を検討すべき

## 4 広報部事案

- (1) 「広場」12月号の内容紹介
- (2) 「広場」1月号の編成案説明、原稿依頼
- (3) ホームページに「初詣」の写真依頼

## 「所沢で第九を」に参加して

昨年 12 月 9 日(日)、所沢文化センター・ミュージズで、ベートーヴェン作曲「第九交響曲(合唱付き)」の演奏会が盛大に開催されました。合唱団の一員として出演された、ところざわ倶楽部会員の方に、この催しの特徴、練習風景、参加の感想などのコメントをいただきました。

### 市民大学第18期(北欧の会) 稲村洋二

時の経つのは早いもので、「第九」が終わるともう1年が過ぎたのかと実感します。今回で5回目の参加となりました。

その間指揮者は米崎栄和、柳澤寿男、現田茂夫、橘直貴、外山雄三の各氏がタクトを振られ、それぞれに感慨があります。

指揮に濃淡があり、練習に頻繁に来て熱心に指導される指揮者がおられる反面、2回程度しか指導に来られない指揮者もいます。その中で今回の外山先生は、「アマチュアであれプロであれ、どれだけ真摯な態度で演奏に向き合うかが重要だ」と、指揮を依頼した時に確認されたとのことでした。特に「合唱」には、ドイツ語の発音について厳しく注文を出され、繰り返し練習をし、自宅でも発音練習をするように指示されました。指導日は皆ピリピリした雰囲気の中での練習でした。

その甲斐あってか、後日演奏会の出来栄を聞いたところ、とても重層的な響きで大変よかった、心が洗われたなどの評価をいただき、今年も「第九」の余韻とともに年を越せそうです。

### 市民大学第15期(ドラマティカンパー) 八木 雅子

今年は第30回を記念してN響正指揮者の外山雄三先生をお迎えした。11月2日、初めて先生の指導の日だ。どんなやさしい大先生だろう…と、緊張の中にも期待していた。先ず“Freude(フレイデ)”の発音を指摘される。次に“p(ピア)”は音を小さくするのではなく、表情を柔らかくするのです…と。次々要点を押さえた指導をされ、「もう一回楽譜を見直してください。」と言って帰られた。リハーサルの日はいろいろ行き違いが生じて、何と先生は帰られてしまった。それでも何とか戻って来て下さり、直ちに指揮をされた。ソリストにも指示を出される。定刻の9時、リハーサルは20分で終わった。

本番! さあ、4楽章だ。マエストロの指揮は何とゆったりと導いてくれることか。力がこもり私たちの声の一つにまとめてくれる。誰もが思い切り歌った。心から歌った。

拍手の中、先生は終始舞台の端にいらした。舞台の中央に立つことはなく、花束もオケに譲り、ずっと出演者を讃えてくださっている。マエストロの真髄を見た思いでした。



所沢市社会教育課提供

## 支え！ 学び！ 遊ぶ！ サークル活動

サークル活動状況

### 「さいたま緑の森博物館」へのお誘い

《 地域の自然 》 多胡 國男

一般的に「〇〇博物館」と言えば、コンクリート建ての「ハコモノ」を多くの方は連想されると思います。が、この博物館は全く異なった博物館となっています。



埼玉県が計画している「さいたま緑の森博物館樹林保全管理基本方針」及び「さいたま緑の森博物館雑木林保全再生活動実施要領」などから私なりの理解では、豊かな自然環境が残っている狭山丘陵の、県有地・借地等の雑木林及び湿地等、広大な区域を県民・市民・各種団体等の参加・支援を得て、整備・管理した区域を県・市民等に開放し自然観察・散策等を行い、自然と親しむ場所を提供する区域を「緑の森博物館」と表現していると思います。

この計画は、県財政負担の軽減、住民参加型の施策としては大変結構な発想・計画だと思いますが、長期的に見た場合、計画区域の広さに対して市民等の参加への過度の期待が内在しているのではないかと若干心配しています。



「地域の自然」サークルが「博物館」構想に参加する意思決定を行った理由は、次のとおりです。当サークルは、市民大学第 15 期受講者を核として平

成 20 年 12 月発足、早稲田大学所沢キャンパス B 地区の雑木林を借用し大堀先生のご指導の下、常緑樹の伐採、樹木や林床植生調査、照度測定等基礎的調査活動を約 4 年間実施し、技能の習得・向上に努めてまいりました。



この間に蓄積した知識・技能を活用できる場所として、「博物館」構想に参加することにより、市民大学の目標でもある地域活動への還元ができるのではないかとこの思いで参加を決定しました。

平成 24 年 11 月から、県環境部及び県農林公社の担当者による現地見学会・実技指導等を受け、平成 25 年度から担当区域の計画、整備、管理等をわがサークルで実施すべく県と調整・協議中です。

当サークルが担当する区域（面積）は、会員数に対して若干広すぎるのではと懸念しています。ところざわ倶楽部会員の皆様の中には自然環境等に興味がある方が多数在籍されていると思いますので是非、活動にご参加ください。大歓迎です。



サークル活動状況

# 熊野神社の 若注連神事を見学

《 野老澤の歴史を楽しむ会 》 粕谷 昇

この時期としては比較的暖かい陽気の12月9日(日)、当サークル会員 13 名で、西新井の熊野神社に“龍頭を持つ蛇の形をした”非常に珍しいしめ縄を飾る若注連(わかじめ)神事の見学に行ってきた。

我々が着いたときには、すでに 20 数名の氏子の方が境内に集まっており、しばらくすると作業が始まった。氏子たちは、先ず拝殿で神官によるお祓いを受けた後、ふた手に分かれてそれぞれの部署についた。

一つのグループは、鳥居から古いしめ縄をはずしてビニール袋に丁寧に入れる作業にかかった。やがて鳥居から下ろされたしめ縄は意外に太く感じられたものの、一年の風雨に曝され脆くなっていた。



もう一つのグループは、これから作るしめ縄用の藁をしごき始めた。藁は三ヶ島地区の糞谷にある八幡様の御神田で作られたものだという。一昔前は氏子たちが三把ぐらいずつ陸稲の藁を持ち寄ったそうである。神社創建の時代には、辺りに生えていたであろう茅を使って蛇をかたどったのではないだろうか。



しめ縄作りは神楽殿の中で行われた。神官の指示により、胴体、頭部の顎の上下、歯、白髪、角などの部



品作りと‘縄ない’などの作業が手分けして始まった。胴体を藁で緇(な)うのが大仕事だという。胴

回り 20cm 位、長さは 7m 近くもある。

頭部を作る人は大体決まっていて、顎や角は藁で作られ、白髪は特殊な紙をしごいて作る。角は質のよい藁を麻で巻いて仕上げる。耳は竹筒を斜めに切ったもの、歯は割り竹を赤・黒で彩色したもの、目玉は木の玉に彩色したものである。それぞれの部分が出来上がると、熟練した人が担当して頭部としてまとめられ、胴体と組み合わせて藁蛇作りは終了した。



この藁蛇のしめ縄を鳥居に架けるのは、午後 5 時ごろと聞き、解散することにしたが、近くに住む熱心な会員 3 人が鳥居に架ける現場を再び見に行った。

5、6 年ほど前までは、早く出来上がっても除夜の鐘が鳴り終わるまで架けてはならない習わしだったそうである。



(参考：昭和 22 年 12 月熊野神社特殊神事若しめ縄雛形見取り書)「特殊神事録」

### ◆ 若注連神事の由来

鳥居の西北一間余り離れたところにある大木に白蛇が棲んでいて、参詣の人や境内で遊ぶ子どもがこれを見ると原因不明の病に罹り高熱を出したという。そこで、その白蛇を封じ込めるため、藁で蛇姿を模して鳥居に祀ったことから、この神事は始まったとされる。

## 《3月講演会予告》

## テーマ：「iPS 細胞とは？」

事業部

1. 講師：理化学研究所  
理学博士 長谷川 由紀氏
2. 日時：3月26日（火）13時30分～
3. 講演の内容

iPS 細胞に関する基礎的事項をはじめ、現在この研究がどの程度進んでいるのか、また、将来どのような再生医療や創薬への応用が期待できるのか、そして、これらの過程で生じる問題点は何かなど、分かりやすく解説していただきます。

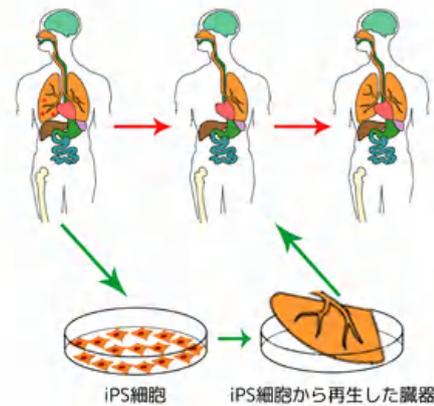
## 4. 参考

iPS 細胞 (induced pluripotent stem cell 人工多能性幹細胞) の開発により、京都大学の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞。

この受賞理由は、「成熟した細胞を多能性をもつ状態に初期化出来ることの発見」。

初期化とは、細胞の過去をいったん消失し、さまざまな細胞に育つ受精卵のような状態にもどすこと。

従来のES細胞（クローン細胞）は受精卵から作られるため倫理上の問題があったが、iPS細胞は皮膚などの体細胞から取り出せる。



病気の臓器を取り除き、皮膚から再生した臓器を移植する様子

## 文化祭参加者大募集！

今年5月に開催を予定しております第2回文化祭の参加者を募集中です。

**1月末まで**に演目と所要時間を事業部理事までお知らせください。

演目は音楽に限りません。落語、漫才、能、狂言等の古典芸能なども大歓迎です。但し、参加はところざわ倶楽部の会員を主体としたものに限りさせていただきます。

また、前回はホールでの演芸発表に限りでしたが、理事会においては、会場通路、学習室等で写真や絵画、書、陶芸、手芸などの展示を同時開催してみてもいいという意見も上がっています。ご要望等あればサークルの代表理事までお知らせください。

事業部 若山 昭

## 「第3回 農と里山シンポジウム」の開催について

日時：平成25年1月20日（日）12:30～16:10  
 場所：川越南文化会館  
 （〒350-1151 川越市今福 1295-2 TEL049-248-4115）  
 定員：360名（申込み先着順、定員になり次第締め切り）  
 主催：三富シンポジウム実行委員会（ところざわ倶楽部も構成団体の一つです。）  
 その他：活動記録等のパネル展示、三富材を使った木製品の展示販売、農業図書の販売を行います。  
 ※ 落ち葉堆肥で育てた大豆を使った豆腐の試食、苗木配布も計画中  
 申込み：埼玉県川越農林振興センター  
 三富農業・平地林活用担当  
 TEL049-242-1804 FAX049-244-2399、  
 (okamoto.yukinori@pref.saitama.lg.jp)

## 「三富・千人落ち葉掃き」参加のお誘いについて

日時：平成25年1月27日（日）  
 09:30～14:00（雨天中止）  
 場所：所沢市下富横山農園周辺の平地林（駐車場：山脇学園用地）  
 服装等：長袖、長ズボン、長靴、軍手、タオル、弁当、飲み水  
 主催：三富アライアンス  
 協力：埼玉県、川越市、所沢市、ふじみ野市、狭山市、三芳町  
 その他：焼き芋、けんちん汁などがサービスされます。  
 申込み：「農と里山シンポジウム」に同じ

# サークル活動計画



1月～2月の各サークルの活動ラインアップです。興味のある活動に参加してみませんか？

<b>葵の会（池田新八郎 2940-0711）</b> 1月10日の総会にて、25年度講座計画、行事計画を検討し決定。今年度の講座は「古事記」「方丈記」を予定。 2月14日（木）古典講座「古事記」第1回（小川達雄先生） 場所：中央公民館予定 時間：13：30～16：00	<b>アジア研究会（小椋雄二 2921-7739）</b> 1月16日（水）13：30～16：30 定例会 場所：中央公民館8、9号学習室 DVD鑑賞「1972年日中共同声明」 2月20日（水）定例会予定、会場・演目後報
<b>楽悠クラブ（甲田和巳 事前連絡は不要）</b> 1月15日（火）13：15～中央公民館 #8・9 & 音楽室 ① 例会：ドキュメンタリー映画「永遠のルアーノ・パヴァロッティ」 ② 新年会：一部：下山静香ピアノ・コンサート / 二部：懇親会 2月12日（火）13：30～喜歌劇「こうもり」	<b>公園を楽しむ会（渡部正俊 2921-3014）</b> 1月24日（木）：東久留米七福神初詣 2月21日（木）：新河岸川散策
<b>地域の自然（多胡國男 2993-6143）</b> 1月26日（土）09：00～緑の森博物館での講習受け 2月2日（土）10：00～落ち葉掃き（詳細は上記へ☎） 多数の方の参加をお待ちしています。 2月23日（土）09：00～定例会 調査地整備と調査	<b>地域の自然を考える会（前岳良子 2928-7334）</b> 1月22日（火）定例会&新年会（武蔵野七福神巡り） 2月26日（火）定例会
<b>地域の祭り研究会（影山洋 2921-8522）</b> 1月16日（水）新所沢公民館9時～11時 臨時幹事会（予定） 議題：3月イベント候補予定地の検討	<b>地球環境に学ぶ（塚本二郎 2942-3117）</b> 1月15日（火）15時～定例会 新所沢東公民館 1月30日のところざわ倶楽部講演会の準備と放射生物質の測定に関する打ち合わせ 他 2月19日（火）15時～定例会の予定
<b>所沢の自然と農業（清水仁一 2944-8835）</b> 1月18日（金）志木第2中学校「落ち葉掃き体験」支援 1月20日（日）第3回「農」と里山シンポジウム開催 1月23日（水）「ところ学」講座「落ち葉掃き体験」支援 1月27日（日）三富・千人落ち葉掃き大会開催	<b>野老澤の歴史を楽しむ会（戸田チ子 2995-0133）</b> 1月22日（火）武蔵野七福神巡り 2月 未定
<b>ドラマティック・カンパニー（八木雅子 2995-0148）</b> 1月12日（土）10：00～正午 1月19日（土）10：00～正午 会場：両日とも新所沢東公民館 『アントニーとクレオパトラ』を読み進めます。	<b>傍聴席（高垣輝雄 2926-7164）</b> 1月21日（月）定例会、14時～新所沢東公民館 今月は懇談です。みんなで新年度の活動計画を考えます。学習したいテーマ、これまでになかった出前講座・施設見学・地域交流など意見交換します。
<b>北欧の会（樋口俊夫 090-6483-7993）</b> 1月26日（土）第36回例会 13：20～ テーマ 総会および北欧旅行報告他 場 所 新所沢東公民館	<b>歴史散策クラブ（大河原功 2943-2004）</b> 1月12日（土）山の手七福神巡り、所沢駅 12：00 3番ホーム（池袋行）最後部付近 2月16日（土）深川不動尊と水天宮、所沢駅 9：30 3番ホーム（池袋行）最後部付近 2月26日（火）全体会議 13：30
<b>懐かしの映画・鑑賞会（二上拓夫 080-1250-6151）</b> 1月22日（火）10時～12時30分 <b>西新井町公民館</b> ■「喜劇 急行列車」（68年）渥美清・佐久間良子 2月19日（火）10時～12時30分 <b>西新井町公民館</b> ■「洋画 最後の初恋」（08年）リチャード・ギア	<b>歴史を楽しむ野老（ところ）会（居田治 2903-8400）</b> 1月30日（水）サークル説明会参加 1月31日（木）県立歴史と民俗の博物館特別展見学 2月28日（木）国立歴史民俗資料館見学、他史跡散策 3月28日（木）明治大学博物館見学

### 第6期「広場」編集委員の紹介

編集委員長(広報部長)高橋赳彦 (所沢の自然と農業)

編集委員 (広報部理事)

岡田俊吾 (アジア研究会)

後藤律子 (所沢の自然と農業)

小林典子 (葵の会)

長岡慶一 (地球環境に学ぶ)

仲山富夫 (民話の会)

編集委員 (広報部理事以外)

新井光子 (公園を楽しむ会)

池田新八郎 (葵の会)

加曾利厚雄 (公園を楽しむ会)

鴨田孝司 (公園を楽しむ会)

島川謙二 (アジア研究会)

平栗彰子 (傍聴席)

ホームページの管理は岡田さんが、「広場」の紙面作りは鴨田さんが主体となって実施し、小林さんが広場の郵送を担当します。他の委員は、主として紙面編成案の検討、記事執筆及び校正、印刷を担当します。

なお、編集委員会は取材を兼ねた昼食会やハイキングなどあたかもサークルの如き活動も実施するなど楽しい委員会です。

委員は随時募集しておりますので、われと思われの方は奮ってご参集ください。(高橋記)



### 《 編 集 後 記 》

◆1年を振り返ると、いろんなことがありました。特に年末の総選挙の結果にはビックリ。投票率の低下は予想通りだが、戦後最低とは・・・

◆無効票はどうかと問い合わせたら、市内の小選挙区では概算 1.4%も増加しているとのこと。選挙に行きませんという人と、行っても投票箱には白紙で入れました、という市民が増えたのですね。もともとこの選挙、憲法違反の状態で行ったのです。最高裁は 100 日以内に「憲法違反だから無効です」と判決を下したらどうでしょう。でも新政権は景気回復を最優先に取り組むのだからマアいいことにしましょうか。

◆失われた 20 年のこの国。輪転機で紙幣を増発し、建設国債、赤字国債を沢山発行しデフレ経済から脱却。

裸木の影隆々と水鏡  
クリスマス象のはな子の鳴らす鐘  
冬温し象のはな子の滋養食  
着ぶくれて象のはな子の国想ふ  
神田川起点の池の落葉掻  
冬空へ百も曲くねりて朴の幹  
家康の愛(め)でし源泉溢ふる冬  
冬日さす彫刻館の平和像  
餌を食はぶる象のはな子や冬ぬくし  
よしきり橋先は疎水のかいつぶり  
胃の腑までみせて大鯉冬ぬくし

鈴木すぐる  
鈴木 征子  
河瀬 俊彦  
小林 貞夫  
小林 典子  
白神 恵子  
高梨 千代  
高光 泉  
利根川啓一  
中村 直子  
中嶋 弘子

冬枯や風に押さるる幼な声  
冬日差し豊温もる童心居  
悴(かじ)かみて引き寄す鉛緒手に余る  
永らへて象のはな子の日向ぼ  
冬の井の井戸杵はしる白さかな  
名苑の老樹に威厳冬構へ  
冬の旅諏訪の駅舎の足湯かな  
菜園の秋明菊やさんぽ道  
白障子床に臥せある日暮かな  
定宿の朝餉(あさげ)は鮭と香の物

橋本 佑子  
平栗 彰子  
荒幡千鶴子  
井出 昇  
海老澤愛之助  
粕谷 昇  
飯泉 陽子  
岡本詔一郎  
佐藤 八郎  
高橋 三郎

### むさし野俳句会(二十四年十二月) 井の頭吟行作品抄

名目 3%の経済成長で、株価が上がり、円安になり、貿易黒字も増大、企業は増収増益、雇用は拡大、賃金アップ、若い人も安定収入、安心して結婚でき、子育てファミリーが至る所にあふれ、シャッター商店街も減り、若者から高齢者まで生き活きた人で溢れる国に甦る!? 期待しますが・・・

◆ささやかな私の願いは、好きな「彩のかがやき」が値ごろ価格に戻って欲しいことです。「埼玉県が生んだ美味くてお値ごろなお米です」に魅せられ食べている。それなのにこの高価格、どうなっているの?

エッ、もう物価高?米は日本人の主食です。埼玉県で穫れ、埼玉県で食する。まさに地産地消の優等生。五穀豊穰を司る神社に初詣で祈りました。

長岡慶一